

四倉驛 構内の列車事故

殉職二名負傷者多數出ず

鐵道側の損害二十萬圓か

四倉驛構内の急行貨物列車、客車追突事件は乗務員二名の殉職者と多數の重輕傷者を出し夜間の椿事だけに現状は慘憺な光景を呈した。原因損害調査中なるも鐵道側の損害は列車の損傷だけで二十萬圓を越えるものと見られ、常磐線の鐵道事故では植田驛構内の急行列車衝突事件に次ぐ十數年来の大事故である。

貨物積載に追はれ

信號停止失念

惨事の責任は驛員か

立川檢事一行現場へ急行し實地檢證上關係者

(モ) 同驛信號係伊藤久右衛門

同驛係手双葉郡大久村生れ猪俣芳美(三)及び旅客

列車の機關手仙台機關車浦

熊谷新次郎(西)同助手三浦

要次郎(西)同井上一至(西)

午後六時四分四倉驛着8時

越延り貨物急行列車が約八分

刺しなど積込みに待機してゐる

伊藤助役はこの貨物急行へ積載する季節物の類

四倉驛構内の急行貨物列車、客車追突事件は乗務員二名の殉職者と多數の重輕傷者を出し夜間の椿事だけに現状は慘憺な光景を呈した。原因損害調査中なるも鐵道側の損害は列車の損傷だけで二十萬圓を越えるものと見られ、常磐線の鐵道事故では植田驛構内の急行列車衝突事件に次ぐ十數年来の大事故である。

四倉驛構内の急行貨物列車、客車追突事件は乗務員二名の殉職者と多數の重輕傷者を出し夜間の椿事だけに現状は慘憺な光景を呈した。原因損害調査中なるも鐵道側の損害は列車の損傷だけで二十萬圓を越えるものと見られ、常磐線の鐵道事故では植田驛構内の急行列車衝突事件に次ぐ十數年来の大事故である。

客車の不倒が幸ひ

命拾ひの乗客慨然と語る

命拾ひをしました」と喜んで語る

「ドカン! と大きな衝動を受け前めりになつたけどじました、が客車の窓ガラス

東京市荏原区上神明町魚崎
佐藤廣美(三)双葉郡龍田村
前坂本きくよ(三)久ノ瀬
町駅前通藤ひまさん(七)右
城郡内郷村宮檜林木よし

僅か五斗升を五十五家庭へ配給したに止り今後は三百三十余升へ配給全戸数の一割に

も當らぬ心細さである

東京市荏原区上神明町魚崎
佐藤廣美(三)双葉郡龍田村
前坂本きくよ(三)久ノ瀬
町駅前通藤ひまさん(七)右
城郡内郷村宮檜林木よし

</div